

aiwa

コンパクトデジタルカメラ

**aiwa cam DCB**

**JA4-DCM0001**

**ユーザーマニュアル**

3-00250902

aiwa

コンパクトデジタルカメラ

# aiwa cam DCB

## ご使用の前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあったときにお役立てください。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるもののがございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

目次	3
はじめに	5
セット内容	5
ご使用前のおことわり	6
安全上のご注意	7
使用上のご注意	13
お手入れに関して	13
結露 (つゆ付き) に関して	13
廃棄について (リサイクル)	14
各部名称	15
電池の挿入 / 取り外し	21
電池を挿入する	21
電池を取り外しする	23
SD カードの挿入 / 取り外し	24
microSD カードを挿入する / 取り外しする	24
充電	26
充電する	26
電源オン / オフ	27
電源オン	27
電源オフ	27
モード切替	28
モードを切り替える	28
カメラ撮影	30
カメラ撮影画面	30

# 目次

写真を撮影する	32	写真 / ビデオ再生モード	49
カメラ設定	34	写真 / ビデオ再生設定	50
<b>ビデオ撮影</b>	<b>36</b>	<b>本体設定</b>	<b>51</b>
ビデオ撮影画面	36	本体設定	51
ビデオを撮影する	38	<b>パソコンとの接続</b>	<b>53</b>
ビデオ設定	40	パソコンと接続する	53
動作検知撮影	43	パソコンの外部カメラとして使用する	54
タイムラプス撮影	44	<b>トラブルシューティング</b>	<b>55</b>
インターバル撮影	46	故障かなと思ったら	55
<b>自撮り撮影</b>	<b>48</b>	<b>仕様</b>	<b>57</b>
自撮り撮影する	48	<b>アフターサービス</b>	<b>58</b>
<b>写真 / ビデオの再生</b>	<b>49</b>		

# はじめに

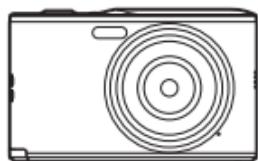
お使いになる前に必ずお読みください

## セット内容

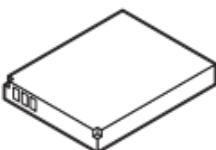
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

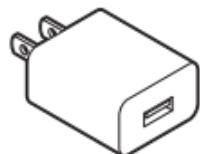
■ 本体



■ 電池



■ AC電源アダプター



■ USBケーブル



■ ストラップ

■ ユーザーマニュアル  
(保証書付き)

■ クリーニングクロス

■ キヤリングポーチ

## ご使用前のおことわり

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 停電や電力線上のノイズなどの外部要因、または天災や原因不明のネットワーク障害、そのほかの不可抗力によってお客様または第三者が受けられた損害（データの損失、そのほかの直接的、間接的な損害）、またはそれらによって生じた故障、もしくは不具合については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電気的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。
- 重要な内容は、必ずパソコンなどほかの記録媒体にバックアップしてください。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるもの、または物的損害（※3）の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかる拡大損害を指します。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



## 警告

○下記の問題が発生した場合は、ただちにAC電源アダプターを外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

○コードが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

**上記の問題が発生した場合は、AC電源アダプターを取り外した後、サポートセンターにご連絡ください。**

○本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。

○風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

○本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触したりした場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

○ぬれた手でAC電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

○修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。

○テーブルクロスやカーテンなどを掛けないでください。じゅうたんやふとんの上に置かないでください。

○自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を操作しないでください。交通事故の原因となります。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



## 警告

- 本体や充電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。
- 充電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合は、ただちに使用を中止してください。充電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、ただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。
- 充電池の充電が所定充電時間を超ても完了しない場合は、充電を中止してください。
- ディスプレイが破損し、液漏れした場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、ただちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに拭き取り、石鹼で水洗いしてください。
- 下記の場所で充電・使用・放置しないでください。本製品の故障、感電、火災などの原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
  - ・直射日光の当たる場所、ストーブのそば、炎天下の車内など、温度の高い場所
  - ・高温多湿の環境、油煙、ホコリの多い場所
  - ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



## 注意

- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。
- 本体を金属などでこすったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障や破損の原因となります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ほかの電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。その場合はほかの電気機器からできるだけ離してください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。
- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。
- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見たりした際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、ただちに使用を中止して医師の診断を受けてください。



## 注意

- AC電源アダプターや、USBケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターや、USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- お手入れのときや長期間使用しないときは、AC電源アダプターを抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 端子がうまく差し込めないときは、端子の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因となります。
- USBケーブルは、パソコンのUSB端子に直接接続してください。市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因となります。
- AC電源アダプターや、USBケーブルを接続して本製品をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないよう注意してください。
- 水などの液体が入った場合は、ただちにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



## 注意

- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、ほこりが付着して火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターおよびUSBケーブルを使用して充電する場合は、長時間本製品に接続しないでください。長時間の接続に起因する不具合は保証対象外となる場合があります。

## お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。  
ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

## 結露(つゆ付き)に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
  - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
  - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
  - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
  - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2~3時間程度室温で放置し、付着した水滴がとれるまでお待ちください。

## 廃棄について(リサイクル)

### ○箱や緩衝材

パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。

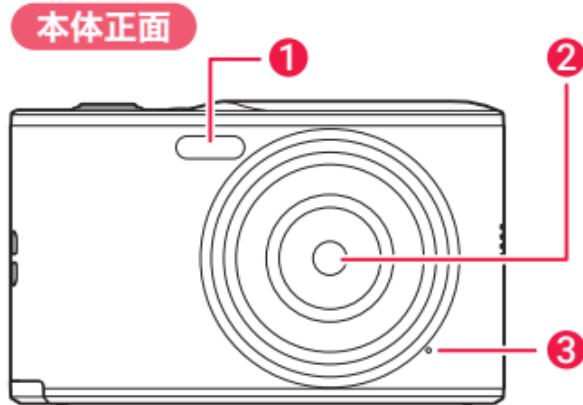
### ○製品

本製品に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。

使用しなくなった製品は、一般のごみと一緒に廃棄せず、付属品も含めてお住いの地域の自治体の条例または規則に従って処分してください。



# 各部名称



## ① フラッシュライト

暗所での撮影時にフラッシュを光らせ  
ることができます。

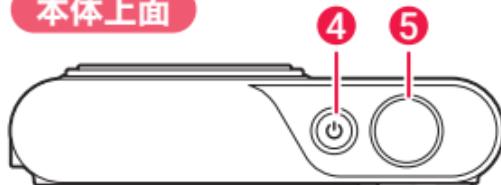
## ③ マイク

この部分にマイクが内蔵されています。

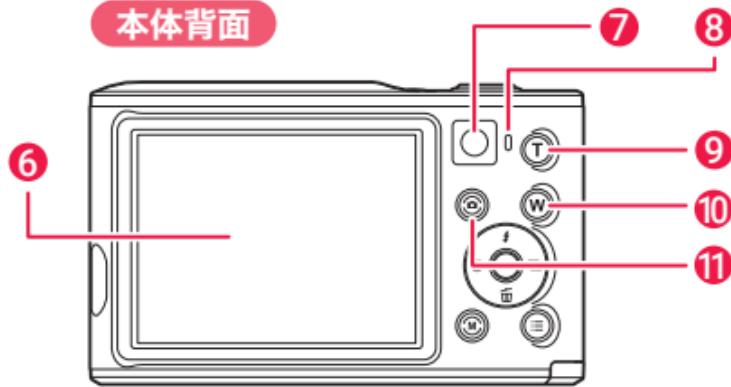
## ② メインカメラ

# 各部名称

本体上面



本体背面



# 各部名称

## ④ 電源ボタン

## ⑤ シャッターボタン

写真/ビデオを撮影します。

## ⑥ ディスプレイ

撮影時の映像や本製品の情報が表示されます。

● タッチパネルではありません。

## ⑦ 自撮り用カメラ

## ⑧ ステータスLED

動作時、撮影時に青色に点灯します。  
充電時には赤色に点灯します。充電が完了すると消灯します。

## ⑨ Tボタン

ズームインします。映像再生時には音量をアップします。

## ⑩ Wボタン

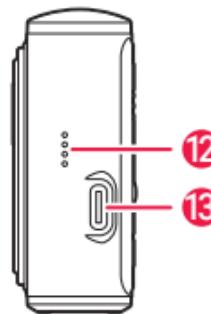
ズームアウトします。映像再生時には音量をダウンします。

## ⑪ カメラ切り替えボタン

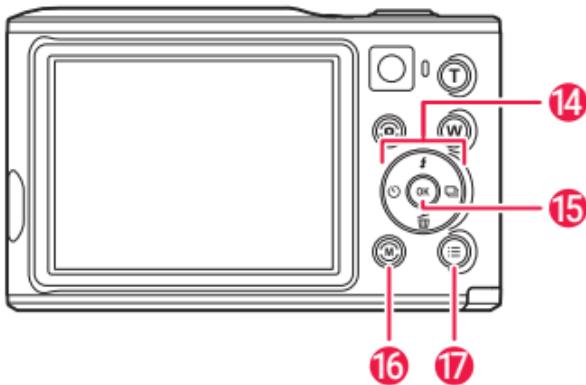
メインカメラと自撮りカメラを切り替えます。

# 各部名称

本体右側面



本体背面



# 各部名称

## ⑫ スピーカー

## ⑬ USB Type-C 端子

付属のUSBケーブルとAC電源アダプターを接続して充電したり、パソコンと接続してデータを転送したりします。

## ⑭ 方向ボタン

・メニュー選択時

上下左右に項目を選択します。

・撮影時



○ タイマー撮影

□ 連写

刪 画像/動画をすばやく削除

## ⑮ OKボタン

- ・メニュー項目を決定します。
- ・動画再生時、動画を一時停止/再生します。

## ⑯ モード切り替えボタン

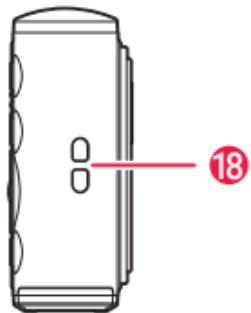
カメラ、ビデオ、画像/動画再生、本体設定の順にモードを切り替えます。

## ⑰ メニューボタン

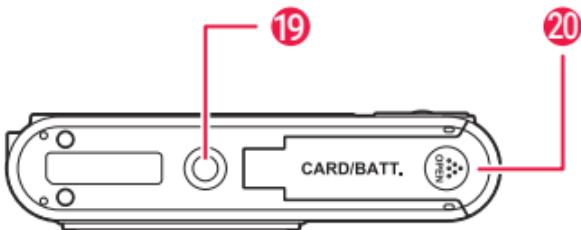
カメラ/ビデオモードで撮影メニューを表示します。

# 各部名称

本体左側面



本体底面



## 18 ストラップホール

付属のストラップ等を取り付けます。

## 19 三脚取り付け部

市販の三脚を取り付けできます。

## 20 電池カバー

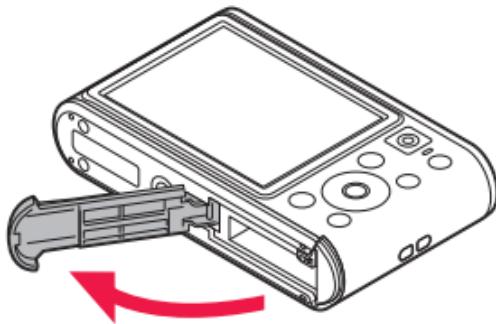
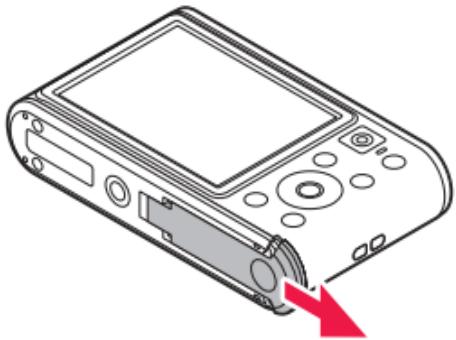
カバーを開けて電池を取り付け/取り外しします。また、市販の microSD カードを挿入します。

# 電池の挿入/取り外し

## 電池を挿入する

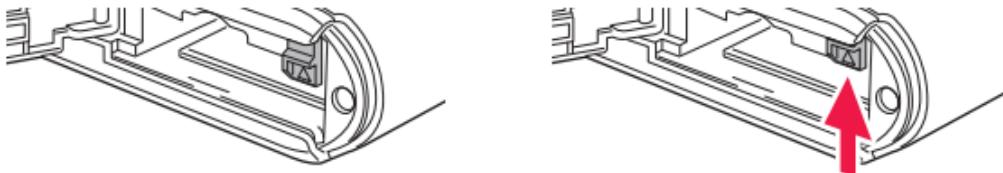
下記の手順で電池を挿入します。

- ① 電源をオフにします。
- ② 底面の電池カバーをスライドして開きます。

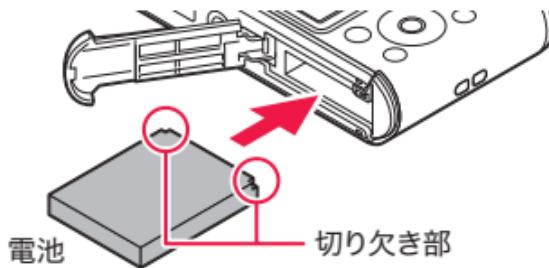


# 電池の挿入/取り外し

③ レバーを上に上げます。



④ 電池の切り欠き部を上にして、金属端子部を本体側に向けて電池を挿入します。



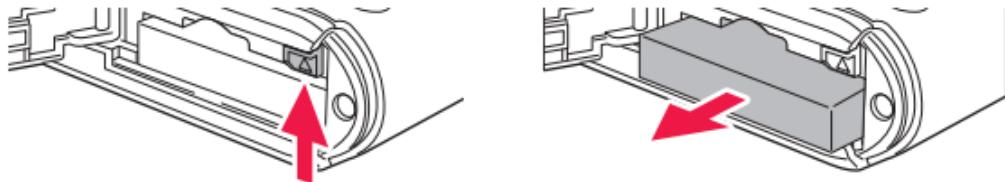
⑤ 電池カバーを閉じて、スライドさせて閉めます。

# 電池の挿入/取り外し

## 電池を取り外しする

下記の手順で電池を取り外します。

- ① 電源をオフにします。
- ② 底面の電池カバーをスライドして開きます。
- ③ レバーを上に上げます。電池を取り外しできるようになります。



- 電池は本製品付属のものをお使いください。それ以外の電池は使用しないでください。
- 電池を取り外しすると本製品の日時を再度設定する必要があります。あらかじめご了承ください。
- 電源がオンの時に電池を取り出しないでください。データが破損する場合があります。
- 出し入れの際は電池の飛び出しにご注意ください。

# SDカードの挿入/取り外し

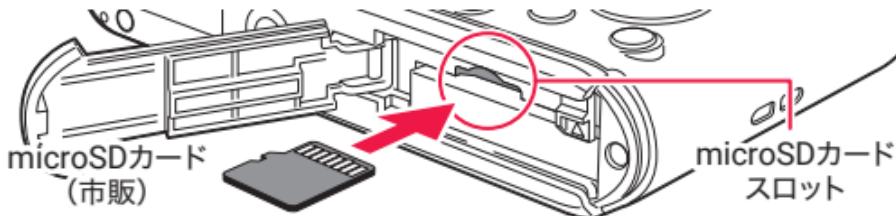
## microSDカードを挿入する/取り外しする

動画/写真的撮影をする場合、データを保存するため、microSDカード（市販品）を本製品にセットする必要があります。

- ① 電源をオフにします。
- ② 底面の電池カバーをスライドして開きます。
- ③ microSDカードを挿入/取り外しします。

### 挿入する場合

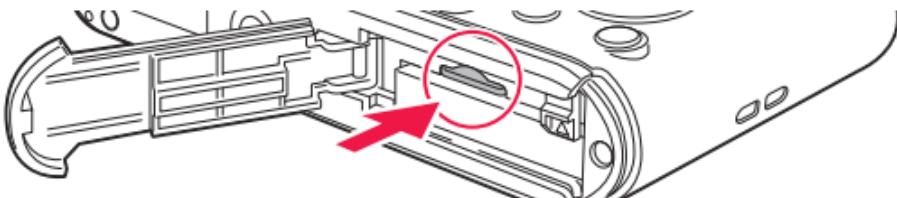
microSDカード（市販）の金属端子面を上にして、「カチッ」音がするまでゆっくりとmicroSDカードスロットに差し込みます。



# SDカードの挿入/取り外し

## 取り外しする場合

microSDカード（市販）を軽く奥に押し込みます。microSDカードが押し出されるので、ゆっくりと引き抜きます。



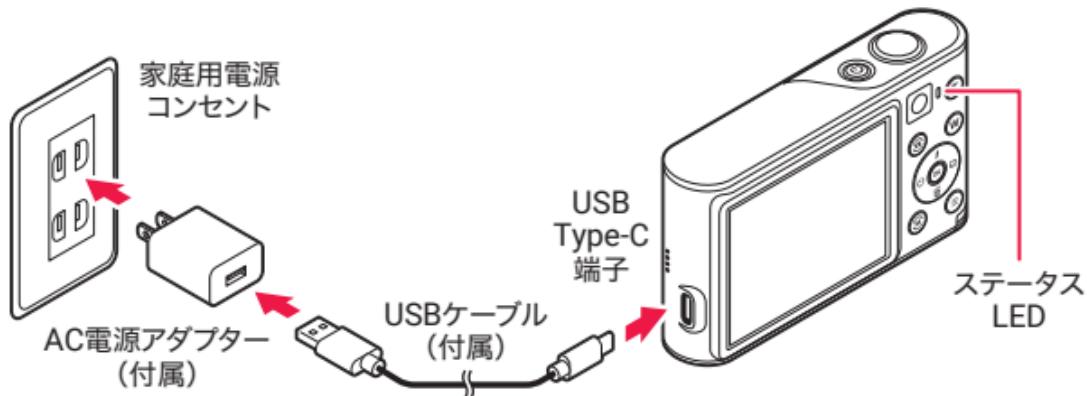
### ④ 電池カバーを閉じて、スライドさせて閉めます。

- 誤った向きで無理に挿入すると、microSDカードやデータが破損する場合があります。
- ほかの機器で利用していたmicroSDカードは、本製品で正常に使用できない場合があります。
- microSDカードを本製品で使用する際は、カードのフォーマット（初期化）が必要になる場合があります。フォーマットするとカードに保存されていたデータはすべて削除されます。ご注意ください。
- すでにデータが保存されたmicroSDカードは本製品で使用しないでください。データの損失やそれによって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 電源がオンの時にmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損する場合があります。
- 出し入れの際はmicroSDカードの飛び出しにご注意ください。

# 充電

## 充電する

本製品に電池を装着した状態で、付属のUSBケーブルを使用して、付属のAC電源アダプターから充電できます。充電時にはステータスLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。



- 撮影しながら充電できます。
- ステータスLEDが素早く点滅した場合、電池が装着されていないか、正しく装着されていません。電池が正しく挿入されているか確認してください。

# 電源オン/オフ

## 電源オン

電源オフ時に本体上面の「電源ボタン」を約1秒長押しすると、ディスプレイに起動画面が表示され、電源がオンになります。



## 電源オフ

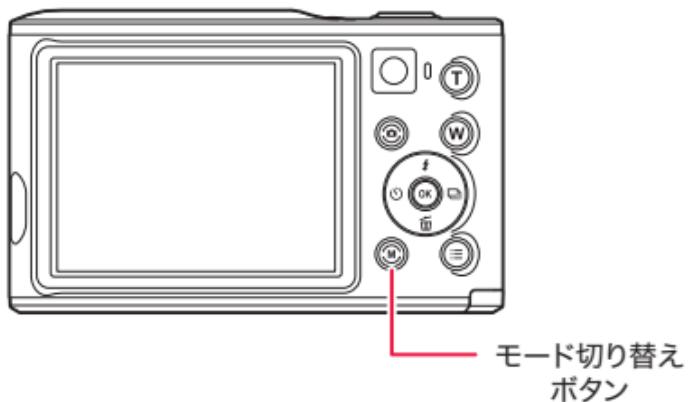
電源オン時に本体上面の「電源ボタン」を約1秒長押しすると、終了画面が表示され、電源がオフになります。

# モード切替

## モードを切り替える

本体背面の「モード切替ボタン」を押すと、モードが切り替わります。

「カメラ」→「ビデオ」→「画像/動画再生」→「本体設定」の順にモードが切り替わります。



## モード切替

カメラ	写真を撮影します。詳細は30 ページを参照してください。
ビデオ	ビデオを撮影します。詳細は36 ページを参照してください。
写真/ビデオ再生	撮影した写真やビデオを確認できます。詳細は49 ページを参照してください。
本体設定	本製品の設定に移動します。詳細は51 ページを参照してください。

# カメラ撮影

## カメラ撮影画面

カメラ撮影画面です。画面には撮影時の情報が表示されます。



# カメラ撮影

① 通常撮影/連写撮影

② 画像サイズ

③ 写真撮影モード設定

④ 手ブレ補正 オン/オフ

⑤ 顔検出 オン/オフ

⑥ スマイルショット オン/オフ

⑦ フラッシュライト設定

⑧ 残り撮影枚数

⑨ microSDカード挿入済み/未挿入

⑩ ホワイトバランス

⑪ 画質

⑫ 露出設定

⑬ ISO感度

⑭ シャープネス

⑮ 効果

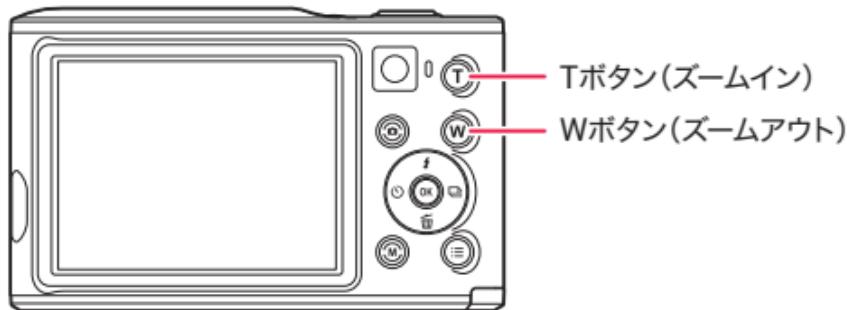
⑯ 電池残量

# カメラ撮影

## 写真を撮影する

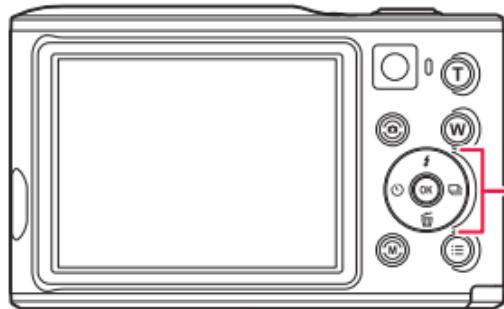
下記の手順で写真を撮影します。

- ①「モード切り替えボタン」を押し、カメラモードにします。
- ②「Tボタン」でズームイン、「Wボタン」でズームアウトします。



# カメラ撮影

- ③ 必要に応じて方向ボタンで設定をすばやく変更できます。



- フラッシュライト
- タイマー撮影
- 連写
- 画像/動画を素早く削除

- ④ その他の設定は、「メニューボタン」を押して変更します。

- ⑤ 「シャッターボタン」を半分だけ押すと、自動的に画面中央の被写体にピントが合います。ピントが合うと画面中央の枠線が黄色から緑に変わります。そのままボタンを押すと写真が撮影されます。撮影された写真はmicroSDカードに保存されます。

- 撮影時にステータスLEDが点灯した場合はLEDが消灯するまでカメラを動かさないでください。

# カメラ撮影

## カメラ設定

カメラモードでメニューボタンを押すとカメラ設定画面が表示されます。

モード設定	シーンに合わせてカメラ撮影のモードを設定します。
画像サイズ	写真の解像度を設定します。
美肌	美肌モードのオン/オフを設定します。 ● 美肌モードをオンにすると、「効果」を設定できなくなります。
連写モード	連写モードを設定します。
セルフタイマー	タイマー撮影の秒数を設定します。 ● セルフタイマーを設定すると、「スマイルショット」撮影ができなくなります。

# カメラ撮影

露出	露出を設定します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
画質	画質を設定します。
シャープネス	画像のシャープさを設定します。
効果	選択した効果を写真に加えます。
ISO感度	ISO感度を設定します。
手ブレ補正	手ブレ補正のオン/オフを設定します。
顔検出	自動顔検出モードのオン/オフを設定します。
スマイルショット	オンにすると、笑顔になった時に自動で撮影します。

# ビデオ撮影

## ビデオ撮影画面

ビデオ撮影画面です。画面には撮影時の情報が表示されます。



# ビデオ撮影

① ビデオ撮影形式

② ビデオサイズ

③ ビデオ撮影モード設定

④ フラッシュライト

⑤ 撮影残り時間

⑥ microSDカード挿入済み/未挿入

⑦ ホワイトバランス

⑧ 露出設定

⑨ ISO感度

⑩ シャープネス

⑪ 効果

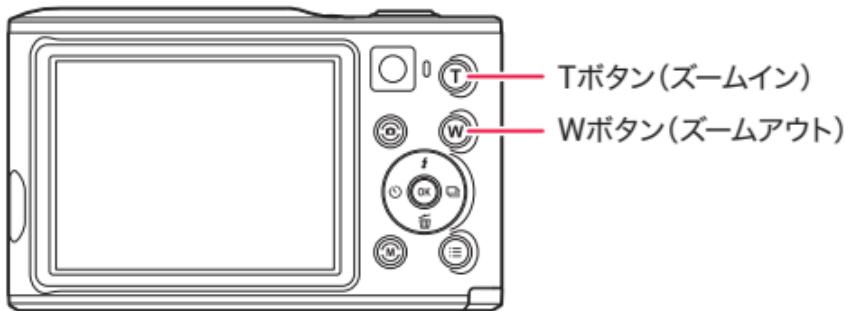
⑫ 電池残量

# ビデオ撮影

## ビデオを撮影する

下記の手順でビデオを撮影します。

- ①「モード切り替えボタン」を押し、ビデオモードにします。
- ②「Tボタン」でズームイン、「Wボタン」でズームアウトします。



## ビデオ撮影

---

③ 必要に応じて「メニュー ボタン」を押してビデオ撮影の設定を変更します。

④ 「シャッター ボタン」を押すとビデオ撮影が開始されます。

・撮影中の操作

OK ボタン：一時停止 / 撮影再開します。

シャッター ボタン：撮影を終了します。

撮影されたビデオは microSD カードに保存されます。

# ビデオ撮影

## ビデオ設定

ビデオモードでメニュー ボタンを押すとビデオ設定画面が表示されます。

モード設定	シーンに合わせてビデオ撮影のモードを設定します。	
ビデオサイズ	ビデオの解像度を設定します。	
美肌	美肌モードのオン / オフを設定します。	
ビデオ	ビデオ撮影形式を設定します。	
ノーマル	通常のビデオ撮影です。	
	動きがあるものを検知したときだけ撮影します。詳細は43 ページを参照してください。	

# ビデオ撮影

ビデオ	タイムラプス 撮影	「タイムラプス設定」で指定した間隔で写真を撮影して一つのビデオにします。詳細は44 ページを参照してください。
	インターバル 撮影	「タイムラプス設定」で指定した間隔で写真を撮影します。詳細は46 ページを参照してください。
	スロー モーション	スローモーションビデオを撮影します。 ● ビデオサイズで「4K」を選択したとき、スローモーションは選択できません。
タイムラプス 設定	タイムラプス撮影とインターバル撮影時の解像度、撮影開始 / 終了時刻、撮影間隔を設定します。	
露出	露出を設定します。	
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。	

# ビデオ撮影

シャープネス	映像のシャープさを設定します。
効果	選択した効果を写真に加えます。
ISO感度	ISO感度を設定します。

# ビデオ撮影

## 動作検知撮影

動作検知撮影をオンにすると、動きがあるものを検知したときだけ撮影します。

- ①「モード切り替えボタン」を押し、ビデオモードにします。
- ②「メニューボタン」を押し、メニュー項目から「ビデオ」→「動作検知」を選択し、「OKボタン」を押します。
- ③ビデオ撮影画面に戻ります。左上に緑色の「動作検知撮影」アイコンが表示されます。



- ④シャッター ボタンを押します。「動作検知撮影」のアイコンが赤くなり、カメラの前で動きがあるものを検知したときに撮影を開始し、動きが止まったら撮影を終了します。再度シャッター ボタンを押すと動作検知撮影を終了します。

# ビデオ撮影

## タイムラプス撮影

タイムラプス設定で指定した間隔で写真を撮影し、1つのビデオにします。

①「モード切り替えボタン」を押し、ビデオモードにします。

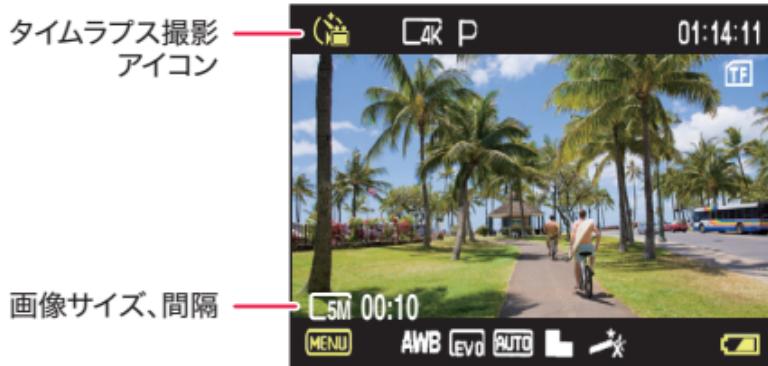
● タイムラプス撮影はメインカメラを使用します。自撮り撮影に設定した場合でも、メインカメラでタイムラプス撮影を行います。

②「メニューボタン」を押し、メニュー項目から「ビデオ」→「タイムラプス撮影」を選択し、「OKボタン」を押します。

③ メニュー項目から「タイムラプス設定」を選択し、「OKボタン」を押します。「画像サイズ」、「時間」、「間隔」を設定します。

④ ビデオ撮影画面に戻ります。左上に「タイムラプス撮影」アイコンが表示されます。また、画面には画像サイズ、撮影間隔も表示されます。

# ビデオ撮影



- ⑤「シャッターボタン」を押すとタイムラプス撮影が始まります。タイムラプス撮影中はディスプレイが消灯します。写真撮影時にはステータスLEDが点灯します。
- ⑥「電源ボタン」を押すとタイムラプス撮影を終了します。
- 「タイムラプス設定」→「時間」で撮影開始時刻と撮影終了時刻を設定している場合、シャッターボタンを押した後、開始時刻になったら自動的に撮影が開始され、終了時刻になったら撮影を終了します。撮影開始時刻を経過している場合は、シャッターボタンを押した後すぐに撮影が開始されます。

# ビデオ撮影

## インターバル撮影

タイムラプス設定で指定した間隔で写真を連続して撮影します。

①「モード切り替えボタン」を押し、ビデオモードにします。

●インターバル撮影はメインカメラを使用します。自撮り撮影に設定した場合でも、メインカメラでタイムラプス撮影を行います。

②「メニューボタン」を押し、メニュー項目から「ビデオ」→「インターバル撮影」を選択し、「OKボタン」を押します。

③メニュー項目から「タイムラプス設定」を選択し、「OKボタン」を押します。「時間」、「間隔」を設定します。

●画像サイズはカメラ設定で選択した解像度に設定されます。

④ビデオ撮影画面に戻ります。左上に「インターバル撮影」アイコンが表示されます。また、画面には画像サイズ、撮影間隔も表示されます。

# ビデオ撮影



- ⑤「シャッターボタン」を押すとインターバル撮影が始まります。インターバル撮影中はディスプレイが消灯します。写真撮影時にはステータスLEDが点灯します。
- ⑥「電源ボタン」を押すとインターバル撮影を終了します。
- 「タイムラプス設定」→「時間」で撮影開始時刻と撮影終了時刻を設定している場合、シャッターボタンを押した後、開始時刻になったら自動的に撮影が開始され、終了時刻になったら撮影を終了します。撮影開始時刻を経過している場合は、シャッターボタンを押した後すぐに撮影が開始されます。

# 自撮り撮影

## 自撮り撮影する

下記の手順で自撮り撮影できます。

- ① 「モード切り替えボタン」を押して、カメラモードまたはビデオモードにします。
- ② 「カメラ切り替えボタン」を押します。カメラが「自撮り用カメラ」に切り替わり、ディスプレイには「自撮り用カメラ」からの画像が表示されます。
- ③ カメラモードの場合、「シャッターボタン」を長押ししてカメラ撮影します。  
ビデオモードの場合、「シャッターボタン」を押して撮影を開始し、もう一度を「シャッターボタン」を押すと撮影を終了します。

- 自撮り撮影では、ディスプレイに表示された向き（左右反転）で写真/ビデオが保存されます。
- 自撮り撮影では、オートフォーカス機能（自動的に被写体にピントが合う機能）はありません。

# 写真/ビデオの再生

## 写真/ビデオ再生モード

下記の手順で撮影した写真/ビデオを再生します。

- ① 「モード切り替えボタン」を押し、写真/ビデオ再生モードにします。最後に撮影した写真/ビデオが表示されます。
- ② 方向ボタン←→で撮影した写真/ビデオを選択できます。

- ・写真の操作

Tボタン：写真を縮小します。

Wボタン：ファイルを一覧表示にします。写真表示中は写真を拡大します。

- ・ビデオの操作

シャッターボタン：ビデオを再生/停止します。

OKボタン：ビデオを一時停止/再開します。

Tボタン：再生中にビデオの音量を上げます。

Wボタン：ファイルを一覧表示にします。再生中はビデオの音量を下げます。

方向ボタン↑：ビデオを早送りします。

方向ボタン↓：ビデオを早戻しします。

# 写真/ビデオの再生

## 写真/ビデオ再生設定

写真/ビデオ再生モードでメニュー ボタンを押すと写真/ビデオ再生設定画面が表示されます。

削除	写真やビデオを削除します。
保護	写真やビデオを保護します。保護を解除しないと削除できなくなります。
回転	写真を回転します。ビデオは回転できません。
スライドショー	写真をスライドショー再生します。写真のみ再生されます。スライドショーを停止する場合は方向 ボタン↑を押します。

# 本体設定

## 本体設定

本体設定では本体の設定を変更できます。「OK」ボタンを押して項目を決定します。「メニュー ボタン」でキャンセルします。

言語	表示言語を設定します。
日時	日時の設定と、タイムスタンプのオン/オフを設定します。 ● 電池を取り外しすると設定した日時がリセットされます。再度日時を設定する必要があります。
自動電源オフ	無操作時に自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。
操作音	操作音のオン/オフを設定します。

## 本体設定

フリッカー低減	電灯などが被写体の場合、周波数に合わせてフリッckerを低減します。
SDカードのフォーマット	microSDカードをフォーマットします。
工場出荷リセット	本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

# パソコンとの接続

## パソコンと接続する

下記の手順でパソコンと接続してデータ転送できます。

- ① 電源がオンの状態で、本製品とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
- ② モード設定の選択画面で「USB接続」を選択し、「OKボタン」を押します。
- ③ 本製品に挿入されたSDカードのデータをパソコンから確認できます。パソコンの操作について詳細はパソコンの説明書をご確認ください。

- パソコンと接続してデータを転送している際は、USBケーブルを抜いたり、microSDカードを取り外したりしないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンとの接続を解除する場合は、パソコンから安全な取り外しを行ってください。詳細はパソコンの説明書をご確認ください。

# パソコンとの接続

## パソコンの外部カメラとして使用する

下記の手順でパソコンと接続してパソコンの外部カメラとして使用できます。

- ① 電源がオンの状態で、本製品とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
- ② モード設定の選択画面で「PCカメラ」を選択し、「OKボタン」を押します。
- ③ パソコンのカメラアプリ等で外部カメラとして本製品を選択します。パソコンの操作について詳細はパソコンの説明書をご確認ください。

# トラブルシューティング

## 故障かなと思ったら

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>○電池残量が無くなった可能性があります。充電をしてから再度電源をオンにしてみてください。</li><li>○電源オンにする際は電源ボタンを1~2秒長押ししてください。</li><li>○電池が正しい向きで挿入されているか確認してください。</li></ul>
撮影した映像/写真がぼやける	<ul style="list-style-type: none"><li>○レンズ部に汚れが付着している場合があります。付属のクリーニングクロス等で撮影前にレンズ部の汚れを取ってください。</li></ul>
電源がオフになってしまふ	<ul style="list-style-type: none"><li>○自動電源オフがオンの場合、電池の消費を抑えるため、一定の時間が経つと自動的に電源がオフになります。自動電源オフの時間を変更する場合は、「本体設定」→「自動電源オフ」から時間を変更してください。</li><li>○電池残量が無くなった可能性があります。充電をしてから再度電源をオンにしてみてください。</li></ul>

## トラブルシューティング

日時がリセットされる

○本製品に挿入された電池残量がなくなったり、電池を取り外したりすると、本製品の日時情報がリセットされます。再度日時を設定してください。

# 仕様

---

製品仕様について、詳細は製品のWEBページを参照してください。

<https://aiwa.net/products/aiwa-cam-dcb/spec/>



# アフターサービス

## 保証書について

- 保証書は本マニュアルの裏表紙に記載されています。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
- 保証規定は、保証書に記載されておりますので、よくお読みください。

## 修理をご依頼の際は

- お問い合わせいただく前に、本マニュアルの「トラブルシューティング」のページをよくお読みください。
- ユーザーマニュアルの内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には、サポート窓口にお問い合わせください。

# アフターサービス

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

## サポートセンター



**0120-685-037**

**携帯電話から 050-2018-6203 (有料)**

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00  
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス：[support@aiwa.net](mailto:support@aiwa.net)

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
- 本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

# MEMO

---

# MEMO

---

aiwa  
aiwa.net

website



X



Facebook



ID : @aiwamarketingjp

製品名:aiwa cam DCB

販売元:アイワマーケティングジャパン株式会社

3-00250902